



現在、幸島と本土が大潮の干潮などにほぼ陸続きになる現象が起きています。
幸島には野生のニホンサルが生息しており、島全体が国の天然記念物として保護されています。
通常、野生動物は砂浜のような広い場所は警戒してあまり出てくることはありません。人が

島外へ出たサルは元に戻せません 幸島という貴重な場所を みんなで守り続けましょう

カバンやスーパの袋を持っていると、それに興味を持って人についてきてしまいます。これが原因で、サルたちが島の外に出て行く可能性があり、さらに、サルに噛まれたり、農作物への被害など「人とサルのトラブル」が起こります。また、島周辺は落石が多く、安易に島に近づくと非常に危険です。安全に島に渡るには、船をご利用ください。
ペットをお連れの方は、犬などのペットは島に近づけないでください。サルを襲ったり、逆に襲われる可能性があります。
一度、島から出てしまったサルは元に戻すことはできません。現在、サルたちも野生を失うことなく平和に暮らしています。どうぞ遠くからそっと見守っていただければと思います。
幸島という貴重な場所を守っていくためにもご協力をお願いいたします。

問 / 生涯学習課文化係 ☎内線377



地域防災の新戦力として、串間市初となる消防団女性部が発足し、4月1日から田中たや子部長以下、30歳から50歳のメンバー9人で活動を開始しました。
地域防災力の強化が求められる中で、火事や災害現場での活動が中心の男性団員に対して、女性ならではのきめ細やかさを

消防団に女性部発足 女性ならではの視点を生かした 防火・防災活動を



生かした高齢者、災害弱者のケアや火災、災害予防の啓発をしてもらうというのが目的です。
4月9日には、女性部発足式が行われ、女性部長に選任された田中部長が「女性ならではの視点を生かした防火活動を積極的に実施し、災害のない明るい地域づくりに貢献し、市民に信頼される消防団員を目指す」と決意を述べました。
これから消防活動に取り組む女性消防団員の今後の活躍に期待ください。

問 / 消防本部 ☎72-4151

連携型中高一貫教育 Q & A

Q1. 「連携型中高一貫教育」ってどういうもの？

A1. 設置者が異なる中学校と高等学校が、教育課程の編成や授業や部活動での教員・生徒間の交流などの連携を深める形で中高一貫教育を行います。

Q2. 連携型中高一貫教育のメリットって？

A2. 設置者が異なる中学校と高等学校でありながらも、6年間の計画的・継続的な教育指導や、幅広い年齢層の生徒の交流の中で、生徒の個性や創造性を伸ばし、社会性や豊かな人間性を育むことができる、中高一貫教育ならではの教育活動を行うことができます。

Q3. 中学校から高等学校への入学には試験があるの？

A3. 試験はありますが、連携型中高一貫教育校であることを踏まえ、連携入試を独自に行うことができます。

Q4. 串間中学校からは必ず福島高校に進学することになるの？

A4. 串間中学校の生徒は、各自の進路希望に応じて、連携型高等学校以外の高校への進学を含め、進路を自由に選択することができます。また、他の中学校から入学を希望することもできます。

問 / 教育委員会学校政策課 ☎内線381

宮崎県内初
串間中学校と福島高校
連携型中高一貫教育スタート



新しい気持ちで頑張るぞー！

夢は、南の果てにある。

太陽と海と野生動物。天然づくし、くしまし。

串間市において、「宮崎の最南端」「南国」「素材の宝庫」などといった、本市のイメージを、市民はもとより、市外・都市部の方々に容易に連想もらえるように「キャッチフレーズ」を決定し、「夢は、南の果てにある。」が採用されました。
最終的にプロのコピーライターが考えた
「ありのまま、ほしきまま、くしまし」
「天然づくし、楽園づくし、くしまし」
「天然の天才くしまし」
「楽園、ふだんに、ふだんに。」
「夢は、南の果てにある。」
「わざわざ、わくわく、南国くしまし」
「そっと、秘めてきた、南国。」の7候補の中から中学生や高校生などにアンケートを実施し決定。今後、市役所の封筒やホームページなどで使用していく予定です。

問 / 総合政策課企画係 ☎内線333

南国串間を市外へPR キャッチフレーズ決定！